

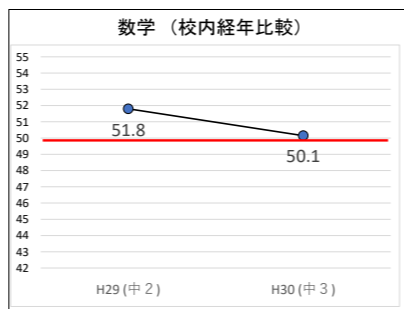
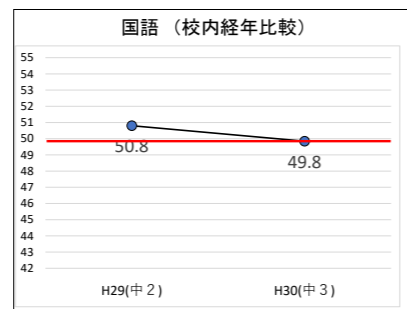
学校名	笠岡市立金浦中学校	学校長名	吉武 明博	事業名	放課後学習サポート事業	0	0
-----	-----------	------	-------	-----	-------------	---	---

調査結果の概要

科目	全国学力調査結果(教科別 平均正答率・無解答率)											
	国語A		国語B		国語	数学A		数学B		数学	理科	
	平均正答率	無解答率	平均正答率	無解答率	標準スコア	平均正答率	無解答率	平均正答率	無解答率	標準スコア	平均正答率	無解答率
貴校(本年度)	24.4	3.7	5.4	3.8	49.8	24.5	2.5	6.4	13.6	50.1	18.2	6.3
岡山県(公立)	24.2	3.2	5.3	4.0		23.5	3.8	6.2	15.0		17.7	5.8
全国(公立)	24.3	3.1	5.5	3.0	50.0	23.8	3.3	6.6	12.6	50.0	17.9	5.0
全国との差	0.1	-0.6	-0.1	-0.8	-0.2	0.7	0.8	-0.2	-1.0	0.1	0.3	-1.3

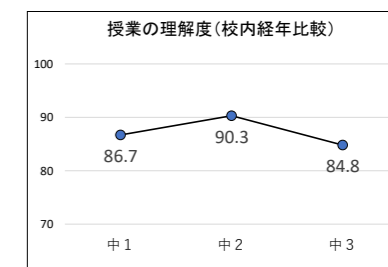
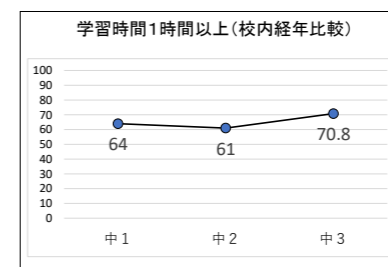
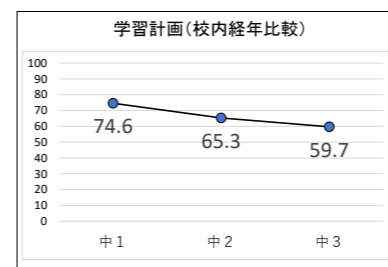
※国語と数学の標準スコアは、各校の平均正答率を入力していただければ、換算できるように、数式を入れています。

過年度 岡山県学力調査結果(教科別 標準スコア・無解答率)		
	国語	数学
中2時(H29)	標準スコア 50.8	標準スコア 51.8
県	50.7	51.5



※標準スコアは、平成29年度納品データの〇〇立〇〇中学校①学力(00)の【Web経年】の、各教科の中2の標準スコアを転記してください。

質問項目		肯定率(H28, H29は県調査, H30は全国調査)					H30 全国との差	
		H28(校内)	H29(校内)	H30(校内)	H30(全国)	全国との差	-10	10
		(10)	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。(肯定率=している+どちらかといえば、している)【参考】H28 県調査中1質問紙(36) H29 県調査中2質問紙(30)	中1 74.6	中2 65.3	中3 59.7	52.1	7.6
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)(肯定率=1時間以上)【参考】H28 県調査中1質問紙(20) H29 県調査質問紙(追加質問14)	中1 64	中2 61	中3 70.8	70.6	0.2		
(29)	数学の授業の内容はよく分かる。(肯定率=当てはまる+どちらかといえば、当てはまる)【参考】H28 県調査中1質問紙(57) H29 県調査中2質問紙(89)	中1 86.7	中2 90.3	中3 84.8	71.0	13.8		



全国学力・学習状況調査の結果の分析 (※ 中学校入学後との経年比較、今年度の全国比較の結果を踏まえて記入)

成果	課題
<p><b>【学力状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数学Aと理科は全国平均を上回った。</li> <li>国語科では、話し合いの内容をつかむことはできており、また、書く時のポイントは頭に入っている。</li> <li>数学Aでは、平均正答率を上回っている項目が多い。</li> </ul> <p>以上のことから、①ICTを活用し、視覚化・焦点化した授業 ②ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業 ③TTIによる授業 などの取組が基礎基本の定着につながっていると考える。</p> <p><b>【学習状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での学習の取り組みは良好(曜日ごとに教科・課題を設定)である。</li> <li>自分で計画を立てて勉強している割合は高い。</li> <li>授業は大切であると考え、好きと答えている割合は高い。</li> </ul>	<p><b>【学力状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語A・Bと数学Bで県平均を上回ったものの全国平均を下回った。</li> <li>国語科では、問題や本文を断片的な読みだけで、必要な情報を読み取る力が弱いため、半端な解答や誤答につながっている。また、慣用句やことわざの知識が乏しい。</li> <li>数学科では、基本的な知識が身につけていないため、事象の傾向を捉えて理由を説明したり、事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明したりするなど、言語化して説明する問題が弱い。</li> <li>原理や法則について整理ができていない。また、じっくり文章を読み、与えられたデータから必要な値を読み取る力が弱い。分数や小数の計算が苦手で、計算問題に課題がある。</li> </ul> <p>以上のことから、記述式の課題の克服(自分の考えを整理し、表現できるようになること)が課題である。</p> <p><b>【学習状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ただ課題に取り組むだけにとどまっており、なぜそうなるのかなど原因を追究するような深い学びになっていない。</li> <li>授業の予習復習をする割合は低い。</li> <li>将来への目標を持っている割合が低く、そのことについて家族と話をする機会も少ない。また、テレビやビデオ、ゲームなどをしながら過ごしている時間が多い。</li> </ul>

具体的な改善の目標設定とその方策

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月末現在)	達成度	達成状況(2月末現在)	達成度	次年度への改善点
【学力状況】 ・「活用問題」の正答率	次年度	全国平均以上	・自分の考えを発表したり、他の人の意見を聞いたりして、考えを深める場の設定 →計画的なソーシャルスキルトレーニング →授業の中での取り組み ・記述式の課題への克服…自分の考えを整理し、表現できるようになるために →「思考ツール」を取り入れた授業実践					
【学習状況】 ・家庭学習の習慣化	・2学期末	・1時間以上の生徒が85%以上	・家庭学習の時間調査を行い、少ない生徒へ個別に指導 ・課題の精選 ・保護者との連携 ・金浦中ブロックスタンダードを作成し、学区全体で取り組む。					

※達成度 「S: 目標を大きく上回った(100%超)」「A: 目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B: 目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C: 目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D: 目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E: 目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇保幼小中学校ともに、ユニバーサルデザインを意識しながら学習生活環境を整えていく。 ・授業前に、心を整える時間をつくること。 ・次時の授業準備を徹底すること。 ・あいさつや話を聞くときは、その人に体と心に向ける。</li> <li>〇合同研修会を行い、接続を意識して、それぞれの部会に分かれて共有化を図る。 ・学習保育環境部会…接続プログラムの作成に向けて。 ・家庭学習及び生活充実部会…金浦中ブロックスタンダードの作成。 ・特別支援部会…情報交換</li> <li>〇校種を越えて、研究授業等へ積極的に参加する。(各校の校内研究の共有化)</li> <li>〇家庭学習強化週間を同時期に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇地域学校協働本部の取組を学区で行い、学習支援、環境改善支援、学校行事支援に地域の力を願う。</li> <li>〇学年だよりや保護者懇談会・地域交流会や学校行事など様々な機会を通して、学校の取り組みを発信し、理解と協力を求める。</li> </ul>